2026 年 4 月 6 日

各　位

会　　社　　名　ダイナミックマッププラットフォーム株式会社
代　表　者　名　代表取締役社長 CEO　　吉　村　　修　一
（コード番号：336A　東証グロース市場）
問　合　せ　先　執　　行　　役　　員　　猪　俣　　光　俊
（TEL. 03-6459-3445）

ダイナミックマッププラットフォームの 3Dmapspocket®に「カメラモード」新搭載
建物内を含む任意地点からの画角を 3D で可視化し、視点検証を効率化

ダイナミックマッププラットフォーム株式会社(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長 CEO: 吉村 修一、以下「当社」)は、3D 計測・分析・仮想配置をワンストップで実現する総合 3D 空間プラットフォーム「3Dmapspocket®」において、実写 3D※空間上の任意地点にカメラオブジェクトを設置し、その位置からの画角(見え方)を表示できる新機能「カメラモード」を追加しました。

本機能により、建物内を含むあらゆる地点からの視野・画角を即時に可視化できます。これにより、都市・インフラ分野などで、現地確認や関係者との合意形成が必要な各種検討業務における視点検証の作業を効率化します。

- 新機能「カメラモード」ご紹介動画: https://youtu.be/OUR0jAU-8yg



3Dmapspocket®の新機能「カメラモード」による表示イメージ

※Google Photorealistic 3D Tiles による表示

■新機能「カメラモード」の主な特長

- **カメラ設置地点からの画角を表示**

3D 空間内の任意の位置にカメラオブジェクトを設置すると、その地点からの画角が表示され、見え方を直感的に確認できます。

- **マウス操作を絞り、狙い通りの視点検証をしやすく**

カメラモードではマウス操作を一定制限する一方で、プロパティパネルのボタン操作およびキーボード操作により、カメラの移動・画角変更が可能です。これにより、マウス操作に比べて意図しない視点ブレを抑え、高い操作性で狙い通りの視点検証が可能となります。



「カメラモード」での操作画面イメージ

- **前後左右上下の移動＋パン・チルトに対応**

移動は前後左右上下、視点方向はパン・チルト(水平・垂直方向)で調整でき、検証したい視点を素早く作り込めます。

■想定ユースケース

本機能は、「その場所から何が見えるか」を重視する都市・インフラ分野や設計・検証業務において、以下のようなユースケースで活用いただけます。

✓ 設置視点の検証: 設備・機器の設置候補地点から、死角や見通しを机上で確認

✓ 計画・説明の効率化: 建物の 10 階からの眺望や室内の任意地点からの見え方など、具体的な視点を関係者間でスムーズに共有

✓ 現地調査の補助: 現場再訪が難しいケースで、視点の再現性を高めた検討を支援　など

上記の点を含め、今回の機能アップデートで実現した内容は以下の通りです。

✓ 3D Tiles 表示における新機能「カメラモード」の追加

✓ 3D オブジェクト操作の拡張(サイズ変更／移動／ロック)

✓ 3D Tiles 表示における保存機能の追加

当社はビジョンである「Modeling the Earth」の実現に向け、今後もプロダクトの機能アップデートを柔軟に進め、デジタルインフラの整備を推進してまいります。

■本件に関する問い合わせ
ダイナミックマッププラットフォーム株式会社
メール：ir@dynamic-maps.co.jp
HP：https://www.dynamic-maps.co.jp/